

福島第一原子力発電所 中期的リスクの低減目標マップ（2026年2月版）を踏まえた検討指示事項に対する工程表

2026年9月11日



国形状の放射性物質：優先して取り組むべきリスク低減に向けた分野

①：水処理廃棄物等

No.①-1：プロセス主建屋等ゼオライト等の回収着手（2025年度）	P1
No.①-2：HIC内ALPSスラリー移替作業（2024～2026年度）	P2
No.①-3：スラリーの脱水処理開始（2028年度）	P3
No.①-4：除染装置スラッジの回収着手（2028年度）	P4
No.①-5：大型廃棄物保管庫第一棟への吸着塔類の屋内保管移行完了（2026年度）	P5
No.①-6：大型廃棄物保管庫第二棟への水処理二次廃棄物の屋内保管移行完了	P6
No.①-7：スラリー脱水物の固体廃棄物貯蔵庫（第11棟以降）における保管への移行完了	P7
No.①-8：水処理二次廃棄物の固化処理方法決定・施設整備計画具体化 スラリー脱水物固化処理施設設置	P8

②：瓦礫類等（これまでの廃炉作業等によるもの）／建屋解体物等

No.②-1：表面線量率による瓦礫類放射能濃度管理手法の構築（中線量・低線量・BG相当）（2028年度） 高線量瓦礫類等の放射能濃度管理手法の検討 3・4号Rw/Bを対象とした施設解体に係る試検討の実施 建屋解体に係る汚染調査、解体方法等の整備（建屋解体モデルの策定）（2028年度） 実施施設解体への適用（3・4号Rw/B含む）	P9
No.②-2：廃棄物貯蔵庫（10棟）一時的運用解消（2033年度）	P10
No.②-3：廃棄物貯蔵庫（11棟）運用開始（2027年度） 廃棄物貯蔵庫（11棟以降）運用開始	P11
No.②-4：溶融設備設置（2032～2034年度）	P12

③：核種分析

No.③-1：分析第二棟設置（2028年度）※ 分析に係る東京電力の人材の確保 総合分析施設の設置	P13
No.③-2：分析計画に基づく試料採取・分析の実施（主要核種の濃度の把握／固化に係る化学的性状の把握／ 既発生瓦礫類の汚染状況のばらつき把握（グルーピングの整理）／ 建屋コンクリートにおける核種浸透挙動の把握）	P14

国形状の放射性物質以外の主な目標

④：汚染水対策

No.④-1：滞留水中のα核種除去開始（2027年度） プロセス主建屋、HTI建屋の水位低下	P15
No.④-2：建屋外壁局所止水対策の完了（2028年度） 建屋流入量の更なる低減 （WPくみ上げ抑制策の検討／2.5m盤汚染箇所の特定／ 2.5m盤汚染土壌隔離措置・浄化策等の検討／ 凍土遮水壁の段階的終了に係る検討）	P16

⑤：原子炉建屋内のリスクの低減

No.⑤-1：1/2/5/6号機全燃料取出し完了（2031年度）	P17
No.⑤-2：乾式キャスク仮保管設備増設 共用プール燃料搬出・高台での乾式保管の開始※	P18
No.⑤-3：1/3号機注水停止試験・給排気流量変更試験等による炉内挙動の把握 （炉内雰囲気管理のための適切な給排気流量の検討／ 適切な炉内冷却方法の検討／炉内状態監視手段等の検討）	P19

⑥：設備・施設の維持・撤去

No.⑥-1：1号機原子炉建屋上階への地震計設置（5階瓦礫類撤去後）	P20
No.⑥-2：運用補助共用施設周辺の斜面对策工事の完了	P21
No.⑥-3：新水処理設備の設置（新ALPS設備、新RO設備）	P22

⑦：廃炉作業を進める上で重要なもの

No.⑦-1：1/2号機排気筒下部の高線量SGTS配管等の撤去・周辺の汚染状況調査（2025年度）	P23
---	-----

⑧：継続的な実施を行うもの

No.⑧-1：原子炉建屋内等の汚染状況把握（核種分析等） 原子炉冷却後の冷却水の性状把握（核種分析） 原子炉建屋内等での汚染水の流れ等の状況把握	P24
No.⑧-2：格納容器内及び圧力容器内の直接的な状況把握（圧力容器内については今後実施予定）	P25
No.⑧-3：排水路の水の放射性物質の濃度低下	P26
No.⑧-4：高線量下での被ばく低減 建物等からのダスト飛散対策 労働安全衛生環境の改善 品質管理体制の強化 （高線量作業に対するリスク抽出及び業務管理の強化）	P27

※：廃炉作業を進める上で重要なもの

No.		分類		項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
①ー1		固形状の放射性物質： 優先して取り組むべきリスク低減に向けた分野 水処理廃棄物等		プロセス主建屋等ゼオライト等の回収着手（2027年度）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
現状の取り組み状況				検討課題												今後の予定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・プロセス主建屋（PMB）、高温焼却炉建屋（HTI）については、地下階に確認された高線量のゼオライト土壌の対策を優先的に進める。 ・回収作業、集積及び容器封入作業はROV等を使用した遠隔操作で実施し、一時保管施設で保管する計画。 ・実環境を模擬したモックアップを実施中 ・集積作業は、モックアップ試験にて得られた知見から改良を重ね2025年3月26日から開始。HTIは2026年5月11日に完了。 ・2025年11月18日実施計画変更申請認可（容器封入作業）				・容器封入作業の着手に向け、設置エリアの大型機器撤去工事を進めて行く。 ・容器封入作業の着手まで、モックアップ・トレーニングを実施し、安全性・信頼性を高めていく。 ・先行して実施したHTI集積作業で得られた知見を今後のPMB集積作業やHTI・PMB容器封入作業へ反映していく。												・容器封入作業は、2027年度後半となる見込み。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
工程表																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
対策	分類	内容	2026年度												2027年度			2028年度	2029年度以降	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
ゼオライト土壌等の対策	設計・計画・モックアップ	集積作業に関する設計・モックアップ・トレーニング																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.		分類		項目														
①－2		固形状の放射性物質： 優先して取り組むべきリスク低減に向けた分野 水処理廃棄物等		HIC内ALPSスラリー移替作業（2024～2026年度）														
現状の取り組み状況				検討課題								今後の予定						
スラリー安定化処理設備が運用開始するまでに積算吸収線量が上限値（5,000kGy）に達する高性能容器内のスラリーの移替え作業実施中。 ・2024年度に積算吸収線量が上限値（5,000kGy）に達する高性能容器内のスラリーの移替え作業を2025年2月に完了（累計125基【2023年度までに実施した102基含む】） ・2025年度に積算吸収線量が上限値（5,000kGy）に達する高性能容器内のスラリーの移替え作業を2026年1月に完了（累計151基【2024年度までに実施した125基含む】） ・2026年度に積算吸収線量が上限値（5,000kGy）に達する高性能容器内のスラリーの移替え作業を実施中（2026年9月3日6月8日時点：累計173±66/199基完了）				－								・積算吸収線量が5,000kGyを超える前に移替えを実施し、ALPSスラリー安定化処理設備の運用開始まで継続。 （2026年度：48基、2027年度：23基、2028年度：32基、2029年度：24基、2030年度：24基の移替えを計画）						
工程表																		
分類	内容	2026年度												2027年度		2028年度	2029年度以降	備考
		4月	5月	6月	7月	8月	9月 現時点	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
現場作業	HIC内スラリー移替作業（スラリー安定化処理設備が運用開始するまでに積算吸収線量が上限値に達する高性能容器）																	HIC内スラリー移替作業についても継続して実施していく

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.		分類		項目																
①－3		固形状の放射性物質： 優先して取り組むべきリスク低減に向けた分野 水処理廃棄物等		スラリーの脱水処理開始（2030年度）																
現状の取り組み状況				検討課題										今後の予定						
○スラリー安定化設備 ・2021年1月7日 実施計画変更認可申請 → 申請内容と現在の設計内容が大きく異なることから、実施計画変更認可申請を取り下げた（2026年1月29日）。設計が完了次第、再度申請を行う。 ・設備の閉じ込め機能に係る詳細設計実施中。 ・設備の詳細設計（脱水物の充填・搬出、メンテナンス時ならびに設備運用時の作業員に対する被ばく低減策、ダスト飛散防止対策、脱水物保管容器等に係る詳細設計）を実施中。 ・HIC解体エリアの追加や長期運用を考慮した導線確保による建屋規模拡大や、気密性確保のための建屋構造変更を踏まえた建屋詳細設計を実施中。 ・実規模フィルタープレス機での脱水試験結果から、脱水物の取り扱い方法の見直しとなり、セルや脱水物を格納する容器、脱水物搬送方法にそついて見直しを実施中。 ○スラリー抜出装置 ・HIC底部スラリーの性状確認を2基実施し、固化は確認されず。水の添加・攪拌による流動性が向上することを確認。 ・抜出装置による抜出確認（模擬スラリー）を実施し、水流を用いた抜き出し方法の成立性を確認。 ・抜出装置によるめ抜出確認（実スラリー）めを実施し、水流を用いて抜き出せることを確認。移替え対象HICを用いた抜出確認を実施し、水流を用いた抜き出し方法の成立性について確認した。				・設置候補地の変更に伴い、機器設計（プロセス設計ならびに機器配置設計）の見直し。 ・地質調査の結果を踏まえ、必要に応じ地盤改良範囲の見直し。 ・M/U結果により、セルの大きさやマニピュレータの取り付け位置に変更が生じる可能性がある。 ・耐震設計の結果、機器・建屋詳細設計の見直しの可能性がある。 ・工事工程の詳細については、設計段階であり、変動する可能性がある。										・機器配置および建屋形状の見直しに時間を要したことや33.5m盤での耐震B＋クラス設備の他設備の建屋設計実績から建屋設計期間が現状の想定期間より必要となること、建屋が一般的な建屋と比べて辺長比が大きくなり、解析方法の変更が必要になったことに伴い、建屋設計に時間を要することが確認されたことから、それを工程に反映すると、脱水処理開始が2028年度から2030年度以降となる。 ・機器配置ならびに建屋形状における建屋の構造強度の成立性が見えてきたことから、今後、機器ならびに建屋の耐震設計を進める。						
工程表																				
分類	内容		2026年度											2027年度				2028年度	2029年度以降	備考
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
許認可	実施計画																			・設計を大きく変更するため、申請を取り下げ実施（2026年1月）。
検証・製作・現場作業	抜き出し装置設計																			・2025年度に水流を用いた実スラリーの抜き出し確認を実施し、抜き出しの成立性を得た。 ・遠隔にて操作できるよう装置の設計を進める。
	スラリー安定化処理設備（フィルタープレス機他）設計・製作・設置	詳細設計																		・耐震設計 ・機器（保管容器設計含む）、建物詳細設計、建築確認申請
		製作・設置																		
		建屋設置																		
運用	スラリー安定化処理																			・2030年度以降運用開始予定

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.		分類		項目															
①－4		固形状の放射性物質： 優先して取り組むべきリスク低減に向けた分野 水処理廃棄物等		除染装置スラッジの回収着手（2028年度）															
現状の取り組み状況				検討課題										今後の予定					
・プロセス主建屋壁面に遠隔装置，吸引装置を搬入するための仮設構台の設置，および壁面の開口作業完了。 ・プロセス主建屋 1 階の除染作業を実施中。 ・スラッジ抜出しの過程における脱水を計画中（“安定化処理”を別途，計画する必要があるかを今後判断） ・2024年5月27日の技術会合にて，原子力規制庁殿と方向性の合意のもと，ダスト閉じ込め対策の設計を見直したが，設備の追加や筐体の大型化に伴い，耐震評価の見直しを実施中。				・抜き出し装置を設置するプロセス主建屋 1 階が高線量であることから除染の検討 ・高線量スラッジを取り扱うことから遮へい，漏えい対策等の安全対策の検討 ・抜き出し時にスラッジをどこまで脱水できるかについて検討 ・スラッジの脱水性の評価と脱水設備の設計具体化 ・ダストの気中への移行率について検討 ・ダスト閉じ込め機能のエリア，逆流防止の考え方についての整理，検討 ・現場状況の確認、ならびに据付工法等の検討 ・運転員や作業員の習熟度を向上させるためのモックアップ／訓練の検討										・抜き出し装置の更なる具体化，安全対策を含めた詳細設計を実施し，スラッジを高台へ移送開始する。（2028年度 スラッジ回収着手） ・ダスト閉じ込め対策を実現するための換気空調設備と配置の設計に伴い，設備の追加や筐体の大型化が必要となったため，耐震評価の見直しを実施中。耐震評価が完了次第，実施計画変更認可申請の補正を行う。					
工程表																			
対策	分類	内容	2026年度												2027年度		2028年度	2029年度以降	備考
			4月	5月	6月	7月	8月	9月 現時点	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
除染装置 スラッジの 移送	設計・検討	詳細設計検討																耐震評価を完了させるため，詳細設計を継続で検討中。	
	許認可	実施計画																耐震評価が完了次第，実施計画変更認可申請の補正を実施	
	製作 現場作業	除染装置フラッシング， 床面除染，遮へい設置等																	
抜き出し装置製作・設置																			
		抜き出し装置運転																	

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前，黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目																	
①－5	固形状の放射性物質： 優先して取り組むべきリスク低減に向けた分野 水処理廃棄物等	大型廃棄物保管庫第一棟への吸着塔類の屋内保管移行完了（2026年度）																	
現状の取り組み状況		検討課題										今後の予定							
・ 2026年7月27日 実施計画変更認可（使用済吸着塔保管架台） ・ 使用済吸着塔保管架台設置		・ 使用済吸着塔耐震評価・落下影響評価の内容検討 ・ 使用済吸着塔架台床面の耐震性検討 ・ 南堰への使用済吸着塔受入の検討										・ 使用済吸着塔の屋内保管							
工程表																			
分類	内容	2026年度												2027年度		2028年度	2029年度以降	備考	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月 現時点	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
許認可	実施計画																		
製作・設置 工事	使用済吸着塔保管架台製作・設置																		
運用	使用済吸着塔類の受入																	SARRY吸着塔は2026年度中に屋内保管移行完了を行う。	

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目																
①－6	固形状の放射性物質： 優先して取り組むべきリスク低減に向けた分野 水処理廃棄物等	大型廃棄物保管庫第二棟への水処理二次廃棄物の屋内保管移行完了																
現状の取り組み状況		検討課題												今後の予定				
施設の概念検討を経て設計・検討を実施中		・建設予定地のスペース有効活用 ・敷地境界線量低減方策 ・保管施設の耐震設計												・設計，検討 ・2027年度に実施計画変更認可申請目標				
工程表																		
分類	内容	2026年度												2027年度		2028年度	2029年度以降	備考
		4月	5月	6月	7月	8月	9月 現時点	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
設計・検討	設計・検討																	
許認可	実施計画																	
現場作業	保管施設設置																2031～2032年度に運用開始（水処理二次廃棄物の屋内保管開始）を目標とする。	

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.		分類		項目																
①－7		固形状の放射性物質： 優先して取り組むべきリスク低減に向けた分野 水処理廃棄物等		スラリー脱水物の固体廃棄物貯蔵庫（第11棟以降）における保管への移行完了																
現状の取り組み状況				検討課題												今後の予定				
【廃棄物貯蔵庫（第11棟）】 →1F耐震設計に関する考え方に基づき、耐震評価や設計を実施中 →2025年8月－8日－実施計画変更申請 ・2026年5月18日 実施計画変更認可 ・建築工事実施中				・スラリー脱水物の保管に関する検討												－				
工程表																				
対策	分類	内容	2026年度												2027年度			2028年度	2029年度以降	備考
			4月	5月	6月	7月	8月	9月 現時点	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
固体廃棄物 貯蔵庫 第11棟設置	許認可	実施計画																	・2026年5月18日 実施計画変更認可	
	設計	設計検討																		
	現場作業	設置工事																	・実績反映	

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類		項目																						
①－8	固形状の放射性物質： 優先して取り組むべきリスク低減に向けた分野 水処理廃棄物等		水処理二次廃棄物の固化処理方法決定・施設整備計画具体化 スラリー脱水物固化処理施設設置																						
現状の取り組み状況			検討課題												今後の予定										
・実現可能な固化処理の技術的オプションの抽出・検討を実施中 →処理方針策定に向けた計画の具体化を実施中 →第15回1F技術会合にて固化処理実施に向けた検討の進め方及び2025年度固化処理方針策定の検討事項案を説明 →第23回1F技術会合にてA-L-P-Sスラリーの当面の分析計画を説明 →第116回監視評価検討会にて2025年度固化処理方針策定に向けた検討の進捗状況を説明 第28回1F技術会合（11/25）にて固化処理方針案を説明 ・第119回監視評価検討会（12/15）にて固化処理方針を説明			・限定された分析データで評価せざるを得ない／分析データが存在しない廃棄物がある ・固化処理の選択肢の選定に影響する事項について、それらの取り扱いや影響の程度について技術的に整理していく必要がある ・固化処理の選択肢に応じた処理の流れや物量および設備規模などを、処理方法選択の材料として整理する必要がある												・水処理二次廃棄物の固化処理技術等の開発について検討を進める。 ・分析データの取得のための実試料の採取と分析を継続する。 ・固化処理方法選定に向けた検討の実施。 *固化処理方式選定に影響がある事項について整理を進める。なお、要件の目安とするレベルの設定に処分に関連する情報も必要な事項については、検討の進め方を整理する。 *候補となり得る複数の処理の流れについて、概略の設備規模などを想定していく。 *これらの検討状況を反映して、固化処理方法の候補を絞り込んでいく。										
工程表																									
対策	内容	2026年度												2027年度			2028年度	2029年度以降	備考						
		4月	5月	6月	7月	8月	9月 現時点	10月	11月	12月	1月	2月	3月												
計画策定・固化処理開始	具体的な固化処理計画の策定																								
	固化処理開始																								

No.		分類	項目																
②－1		固形状の放射性物質： 優先して取り組むべきリスク低減に向けた分野 瓦礫類等（これまでの廃炉作業によるもの） 建屋解体物等	表面線量率による瓦礫類放射能濃度管理手法の構築（中線量・低線量・BG相当）（2028年度） 高線量瓦礫類等の放射能濃度管理手法の検討 3・4号Rw/Bを対象とした施設解体に係る試験の実施 建屋解体に係る汚染調査、解体方法等の整備（建屋解体モデルの策定）（2028年度） 実施施設解体への適用（3・4号Rw/B含む）																
現状の取り組み状況			検討課題											今後の予定					
（瓦礫類） ・容器内のCs-137濃度評価に関する予備的評価（数値解析）に基づく評価方針の策定 ・表面線量率－Cs-137濃度評価手法構築に資する試験・調査の実施 ・核種濃度比の評価に資する分析試料の採取・分析 （建屋解体物） ・建屋汚染状況・汚染機構の評価に係る文献調査 ・建屋汚染状況・汚染機構の評価に資する分析試料の採取・分析 ・3・4号Rw/Bを対象とした建屋解体に係る試験討（汚染状況・汚染機構を踏まえた検討ケース設定等） ・コンクリート再利用に係る技術開発等			・既往の分析結果の集約／整理 ・分析計画に基づく、性状把握を目的としたサンプリング／分析の実施 （瓦礫類） ・表面線量率から瓦礫類放射能インベントリを推算する手法検討 ・保管容器表面近傍の放射能濃度評価 ・保管容器内の汚染不均一性評価 （建屋解体物） ・滞留水接触履歴のある部位からの試料採取・分析 ・汚染環境・状況の設定方針検討											（瓦礫類） ・表面線量率－Cs-137濃度評価手法の構築に資する試験・調査の実施 ・表面線量率－Cs-137濃度評価手法の構築 ・核種濃度比の評価に資する分析試料の採取・分析（継続実施） ・分析結果に基づく核種濃度比の評価 ・上記成果に基づく表面線量率による放射能濃度評価手法の構築（コンクリート） ・多様な材料・汚染状態への評価対象範囲の拡大 （建屋解体物） ・建屋汚染状況・汚染機構に資する分析試料の採取・分析 ・3・4号Rw/Bを対象とした建屋解体に係る試験討（解体・除染、廃棄物保管管理、放射能濃度管理方法等）（継続実施） ・建屋解体手法の整備（上記検討成果の一般化） ・コンクリート再利用に係る技術開発等（継続実施）					
分類	内容	2026年度												2027年度			2028年度	2029年度以降	備考
		4月	5月	6月	7月	8月	9月 現時点	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
解体モデルケース 検討	3・4号Rw/Bを対象とした試験 討 （実際の汚染状況に基づく検討） 「将来発生が見込まれる固体廃 棄物」の種類・量の精査																建屋解体手法整備（～2028年度）		
放射能濃度・性状 による保管・管理	表面線量率による瓦礫類放射能 濃度管理手法の構築（中線量・ 低線量・BG相当）																2029年度以降		
	高線量瓦礫類等の放射能濃度管 理手法の検討																		

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
 青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.		分類		項目																
②－2		固形状の放射性物質： 優先して取り組むべきリスク低減に向けた分野 瓦礫類等（これまでの廃炉作業等によるもの）		廃棄物貯蔵庫（10棟）一時的運用解消（2033年度）																
現状の取り組み状況				検討課題											今後の予定					
【廃棄物貯蔵庫（第10棟）】 ・2023年2月21日に実施計画変更認可 ・10-A棟は2024年8月23日運用開始 ・10-B棟は2024年10月29日運用開始 ・10-C棟は2025年5月16日運用開始				—											・廃棄物貯蔵庫（10棟）の一時的運用解消に向けて、移送先の施設の計画を検討する。					
工程表																				
対策	分類	内容	2026年度												2027年度			2028年度	2029年度以降	備考
			4月	5月	6月	7月	8月	9月 現時点	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
棄物貯蔵庫（10棟）の一時的運用解消	検討	移送先の施設の計画を検討																		

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.		分類		項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
②－3		固形状の放射性物質： 優先して取り組むべきリスク低減に向けた分野 瓦礫類等（これまでの廃炉作業等によるもの）		廃棄物貯蔵庫（11棟）運用開始（2027年度） 廃棄物貯蔵庫（11棟以降）運用開始																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
現状の取り組み状況				検討課題												今後の予定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
【廃棄物貯蔵庫（第11棟）】 →1F耐震設計に関する考え方に基づき、耐震評価や設計を実施中 →2025年8月－8日－実施計画変更申請 ・2026年5月18日 実施計画変更認可 ・建築工事実施中				－												-[廃棄物貯蔵庫（第11棟）]- →2026年5月25日建築工事着手（貯蔵庫棟基礎コンクリート打設）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
工程表																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
対策	分類	内容	2026年度												2027年度					2028年度	2029年度 以降	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			4月	5月	6月	7月	8月	9月 現時点	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
固体廃棄物 貯蔵庫 第11棟設置	許認可	実施計画																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.		分類		項目															
②－４		固形状の放射性物質： 優先して取り組むべきリスク低減に向けた分野 瓦礫類等（これまでの廃炉作業等によるもの）		溶融設備設置（2032 ～2034年度）															
現状の取り組み状況				検討課題										今後の予定					
・ 詳細設計（各機器、ダクト、電気設備、盤等々の具体的な構造設計）を実施中 ・ インベントリの設定と不確実性、閉じ込め設計、耐震クラス（飛散率の設定）、安全設計について、事前面談を実施中				・ インベントリの設定 ・ 耐震クラスの設定 ・ 閉じ込めを行う機器構成と機器仕様 ・ 溶鋼の流下、スラグの抜取りを行う機器仕様										・ 解析や試験を実施					
工程表																			
対策	分類	内容	2026年度												2027年度		2028年度	2029年度以降	備考
			4月	5月	6月	7月	8月	9月 現時点	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
溶融設備設置	許認可	実施計画																	
	検討・設計	詳細設計																	
	製作・設置	設置																	

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
 青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.		分類		項目																
③－ 1		固形状の放射性物質： 優先して取り組むべきリスク低減に向けた分野 核種分析 固形状の放射性物質以外の主な目標 廃炉作業を進める上で重要なもの		分析第二棟設置（2028年度） 分析に係る東京電力の人材の確保 総合分析施設の設置																
現状の取り組み状況				検討課題										今後の予定						
【分析第二棟設置】 ・ 2025年3月31日 着工 →2025年8月8日-実施計画変更認可申請 ・ 2026年4月9日 実施計画変更認可 【総合分析施設】 ・ 廃棄物分析に必要な施設として設計検討中				【総合分析施設】 ・ 先行案件で議論された基準や考え方を適切に反映すること										【分析第二棟設置】 ・ 2028年度竣工に向け、設置工事を実施 【総合分析施設】 ・ 施設の設置に向けた設計の継続実施						
工程表																				
対策	分類	内容	2026年度												2027年度			2028年度	2029年度以降	備考
			4月	5月	6月	7月	8月	9月 現時点	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
放射性物質分析・研究施設（第2棟）	許認可	実施計画																2026年4月9日 実施計画変更認可		
	工事	設置工事																		
総合分析施設の設置	許認可	実施計画																		
	設計	基本設計・詳細設計（概念検討含む）																		
	工事・作業	製作・設置																		

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.		分類	項目																										
③－2		固形状の放射性物質： 優先して取り組むべきリスク低減に向けた分野 核種分析	分析計画に基づく試料採取・分析の実施 ・主要核種の濃度の把握 ・固化に係る化学的性状の把握 ・既発生瓦礫類の汚染状況のばらつきの把握（グルーピングの整理） ・建屋コンクリートにおける核種浸透挙動の把握																										
現状の取り組み状況			検討課題														今後の予定												
・分析計画の継続的な更新： ・リスクマップ関連課題における分析ニーズの反映 ・解体モデルケース検討 ・瓦礫類の放射能濃度管理手法の構築 ・水処理二次廃棄物の固化処理方法決定 ・分析対象核種の選定 ・JAEA分析・研究施設の役割の拡大（ALPS処理水第三者分析等）に伴う分析数減を踏まえた 分析方針の変更 ・上記を反映した固体廃棄物の分析計画の策定 ・分析用試料の採取・分析の実施（継続実施）： ・分析計画に基づく試料採取 ・分析用試料の輸送（茨城地区分析施設、JAEA分析・研究施設第一棟） ・分析の実施、分析データの整理・評価、各検討課題への展開			【分析計画の更新】 ・最新の廃炉工程・作業状況等の反映 ・分析・試料採取等に係る技術課題への対応 【廃棄物毎の分析計画の具体化】 ・分析計画策定において前提とする各廃棄物の管理方法、保管・管理、処理・処分方法の仮定の仕方 ・再利用に係る濃度基準の検討が必要（1F固有の条件を反映した予備的安全評価の実施）														・1F固体廃棄物の分析計画の更新（継続実施） ・リスクマップ関連課題における分析ニーズの反映 ・固体廃棄物の分析計画（次年度版）の策定 ・試料採取・分析の実施（継続実施） ・分析計画に基づく試料採取、輸送、分析の実施 ・分析データの整理・評価、各検討課題への展開 ・各検討課題のニーズ反映（C-14のNDの改善など）												
工程表																													
対策	分類	内容	2026年度												2027年度						2028年度	2029年度以降	備考						
			4月	5月	6月	7月	8月	9月 現時点	10月	11月	12月	1月	2月	3月															
分析計画更新	検討	最新状況・計画の反映																					継続実施						
水処理二次廃棄物	検討	性状把握方針詳細化 分析計画詳細化 技術開発課題検討																					継続実施 具体的な計画は分析結果や試料採取状況も踏まえ、適宜更新						
	試料採取・分析	KURION/SARRY吸着材																											
		ALPSスラリー																											
	解体廃棄物	検討	性状把握方針詳細化 分析計画詳細化 技術開発課題検討																					継続実施 具体的な計画は分析結果や試料採取状況も踏まえ、適宜更新					
試料採取・分析		建屋コンクリートコア・断り・瓦礫類等																											
瓦礫類等	検討	性状把握方針詳細化 分析計画詳細化 技術開発課題検討																					継続実施 具体的な計画は分析結果や試料採取状況も踏まえ、適宜更新						
	分析	試料採取・分析																					継続実施						

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
 青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.		分類	項目																
④ー1		固形状の放射性物質以外の主な目標 汚染水対策	滞留水中のα核種除去開始（2027年度） プロセス主建屋、HTI建屋の水位低下																
現状の取り組み状況			検討課題												今後の予定				
【滞留水処理】 ・1～3号機原子炉建屋内滞留水半減は2023年3月に完了 ・1～4号機建屋滞留水を一時貯留しているプロセス主建屋、高温焼却炉建屋を代替する建屋滞留水一時貯留設備を設置し、床面露出することを計画中 ・2025年1月21日 実施計画変更認可（滞留水一時貯留設備設置） ・2025年6月27日 実施計画変更認可（プロセス主建屋・高温焼却炉建屋 滞留水移送装置の設置） 【滞留水中のα核種除去開始】 ・全α濃度の傾向監視とともに、α核種の性状分析や実液によるモックアップ試験等を進め、セシウム吸着装置後段フィルタ装置の詳細設計を実施中。2025年7月8日に技術会合にて進捗状況を報告。 ・2024年6月27日 実施計画変更認可申請（セシウム吸着装置後段フィルタ装置）			【滞留水中のα核種除去開始】 ・実液によるモックアップ試験（フィルタ通水試験）にて想定より短時間で閉塞事象が確認され、その対策として、前処理（添加剤及び凝集剤の添加）プロセスの追加を実施し機器設計を見直した。												【滞留水処理】 ・プロセス主建屋、高温焼却炉建屋については、極力低い水位を維持しつつ、ゼオライト土嚢等の回収及びα核種拡大防止対策、床面露出用ポンプの設置後、最下階床面を露出する。 ・プロセス主建屋、高温焼却炉建屋の機能を引き継ぐ滞留水一時貯留設備を設置する。 【滞留水中のα核種除去開始】 ・実液によるモックアップ試験を実施し、添加剤及び凝集剤の添加量を検討する。 ・滞留水中のα核種除去開始に向けてα核種除去設備の設置を実施する。				
工程表																			
対策	分類	内容	2026年度												2027年度		2028年度	2029年度以降	備考
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
建屋滞留水一時貯留設備の設置	現場作業	建屋滞留水一時貯留設備の製作・設置（詳細設計含む）						現時点										製作・設置期間を再精査	
滞留水中のα核種除去方法の確立	許認可	実施計画																※ 認可希望時期調整中	
	現場作業	セシウム吸着装置後段フィルタ設備製作・設置																	
	運用	セシウム吸着装置後段フィルタ設備運用																	
プロセス主建屋、HTI建屋の水位低下	現場作業	プロセス主建屋、HTI建屋の水位低下																	

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.		分類		項目													
④－2		固形状の放射性物質以外の主な目標 汚染水対策		建屋外壁局所止水対策の完了（2028年度） 建屋流入量の更なる低減 ・WPくみ上げ抑制策の検討 ・2.5m盤汚染箇所の特定 ・2.5m盤汚染土壌隔離措置・浄化策等の検討 ・凍土遮水壁の段階的終了に係る検討													
現状の取り組み状況				検討課題								今後の予定					
【建屋外壁局所止水対策】 ・4号機建屋間ギャップ端部止水の施工性確認(Y装備、全面マスク着用)：2024年3月～2024年9月 ・4号機R/B建屋間ギャップ端部止水対策：2026年2月～2026年8月 ・3号機T/B建屋間ギャップ端部止水対策工事(施工エリア線量低減対策含む)：2024年7月～2026年2月 ・2号機T/B建屋間ギャップ端部止水対策工事：2026年6月～ 【建屋流入量の更なる低減】 ・WP汲み上げ抑制対策の検討：解析的検討、施工的検討(2024年4月～)				【建屋流入量の更なる低減】 ○中長期的な汚染水抑制対策の進め方を検討に資する調査 ・地中の深度方向の線量分布調査、被ばく線量の確認 ・埋設物への対処（内部調査手法、不明埋設物） ・深部の水位管理手法								【建屋外壁局所止水対策】 ・3号機以外の建屋間ギャップ端部止水対策（2026年度以降、2028年度内に完了予定） 【建屋流入量の更なる低減】 ・解析的検討、施工的検討を踏まえ、今後計画していく。 ・2.5m盤対策は、概略的な施工範囲と地中線量調査結果を踏まえ、具体的な施工検討を進めていく。					
工程表																	
内容	分類	2026年度												2027年度	2028年度	2029年度以降	備考
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
WP汲み上げ抑制対策の検討（解析的検討、施工的検討）	検討																
3号機以外の建屋間ギャップ端部止水対策	対策工事																
2.5m盤対策	調査																

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。
WP：ウェルポイント

No.		分類	項目																						
⑤－2		固形状の放射性物質以外の主な目標 原子炉建屋内のリスクの低減 廃炉作業を進める上で重要なもの	乾式キャスク仮保管設備増設 共用プール燃料搬出・高台での乾式保管の開始																						
現状の取り組み状況			検討課題												今後の予定										
・乾式キャスクの製造及び使用前検査実施中 ・乾式キャスクの福島第一への納入を継続実施 ・2020年9月29日 実施計画変更認可（輸送貯蔵兼用キャスク（既設）30基⇒45基） ・2024年1月15日 実施計画変更認可（輸送貯蔵兼用キャスク（増設）30基） ・2023年7月6日 実施計画変更認可申請（設備増設 計65基⇒計95基）※ ※合計基数には乾式貯蔵キャスク20基含む ・2024年2月 キャスク仮保管設備の増設着手 ・2025年8月20日 実施計画変更認可（乾式キャスク仮保管設備の増設）			－												・2026年度より増設箇所の運用開始予定										
工程表																									
対策	分類	内容	2026年度													2027年度			2028年度	2029年度以降	備考				
			4月	5月	6月	7月	8月	9月 現設中	10月	11月	12月	1月	2月	3月											
乾式キャスク増設	現場作業	乾式キャスクの製造																							
		乾式キャスクの設置 （共用プールからの燃料取り出し）																							
乾式キャスク仮保管設備の増設	現場作業	乾式キャスク仮保管設備の増設工事																							

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類		項目															
⑤-3	固形状の放射性物質以外の主な目標 原子炉建屋内のリスクの低減		1/3号機注水停止試験・給排気流量変更試験等による炉内挙動の把握 ・炉内雰囲気管理のための適切な給排気流量の検討 ・適切な炉内冷却方法の検討 ・炉内状態監視手段等の検討															
現状の取り組み状況			検討課題													今後の予定		
【給排気流量変更試験】 ・1号機PCV閉じ込め強化に向けた試験を実施（2023年11月）。 ・第111回監視・評価検討会（2024年2月）において、1号機PCV閉じ込め強化に向けた試験の結果を踏まえた今後の対応についての考察を説明。 【注水停止試験】 ・2020年～2021年の注水停止試験実績 1号機：2020年11月26日～12月1日 2号機：2020年8月17日～8月20日 3号機：2021年4月9日～4月16日 ・2・3号機の注水量を1.7m3/hへ低減。（本運用開始中） 2号機：2022年3月10日～ 3号機：2022年1月6日～ ・3号機についてPCVからの漏えい箇所の把握、長期の注水停止時の影響確認を目的に注水停止試験を実施※（注水停止期間2022年6月14日～6月19日）。 ※6月19日にPCV水位が新設温度計(TE-16-001)/水位計(LS-16-001)を下回ったと判断したことから注水再開 ・1号機について注水量低減によるPCV水位低下を実施（2024年3月から）したことにより、注水量を1.4m3/hに低減			【炉内雰囲気管理のための適切な給排気流量の検討】 ・1号機PCV閉じ込め強化に向けた試験の結果を踏まえると、中長期的な炉内環境の管理(不活性雰囲気を持続しつつ放射性物質の拡散を抑制する管理)の観点では、均圧（給排気流量が均等）のほうが管理がしやすい可能性があり、プラント毎の試験が必要。 【適切な炉内冷却方法の検討】 ・1号機PCV閉じ込め強化に向けた試験の結果を踏まえると、局所的に水冷の効果が小さく、空冷の効果が大きい可能性があり、空冷でPCV内全体の冷却が可能なのか、冷却方法の選択肢を増やす余地の有無を確認していく必要もある。 【炉内状態監視手段等の検討】 ・上記の炉内環境の管理方法に対応した保安上の必要な措置を整理する必要がある。													・PCV給排気流量変更試験の計画・実施。 ・1/3号機注水停止試験の計画・実施。		
工程表																		
実現すべき姿	分類	内容	2026年度												2027年度	2028年度	2029年度以降	備考
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
炉内環境の最適な管理	炉内雰囲気管理のための適切な給排気流量の検討	給排気流量変更試験等による炉内挙動の把握（試験の計画・実施に向けた検討等）															・1号機試験実施（2023年11月）	
	適切な炉内冷却方法の検討	1/3号機注水停止試験等による炉内挙動の把握（試験の計画・実施に向けた検討等）																
	炉内状態監視手段等の検討	炉内環境の管理方法に対応した保安上の必要な措置を整理																

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目																
⑥－1	固形状の放射性物質以外の主な目標 設備・施設の維持・撤去	1号機原子炉建屋上階への地震計設置（5階瓦礫類撤去後）																
現状の取り組み状況		検討課題												今後の予定				
【1号機原子炉建屋上階への地震計設置（5階瓦礫類撤去後）】 ・暫定として4階レベルに地震計設置完了		【1号機原子炉建屋上階への地震計設置（5階瓦礫類撤去後）】 ・瓦礫類撤去後の設置場所検討 ・地震計設置												【1号機原子炉建屋上階への地震計設置（5階瓦礫類撤去後）】 ・瓦礫類撤去後の設置場所検討 ・地震計設置				
工程表																		
分類	内容	2026年度												2027年度		2028年度	2029年度以降	備考
		4月	5月	6月	7月	8月	9月 現況点	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
1号機原子炉建屋上階への地震計設置（5階瓦礫類撤去後）	瓦礫類撤去後の設置場所検討 地震計設置																暫定として4階レベルに設置した地震計で計測開始	

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目																
⑥－２	固形状の放射性物質以外の主な目標 設備・施設の維持・撤去	運用補助共用施設周辺の斜面对策工事の完了																
現状の取り組み状況		検討課題												今後の予定				
・第16回 1 F 技術会合にて対応方針，対策実施箇所の選定方針について提示（2023年12月26日） ・干渉物移設・撤去が必要な設備の抽出（完了） ・干渉物移設・撤去中長期シナリオ作成（完了） ・斜面セットバック工事に伴う設計（継続中） ・干渉物移設・撤去の検討（継続中）		・セットバック工事にあたって，既設構造物の移設・撤去および発生土量が必要最小限となるような平面レイアウトを検討する。 ・斜面セットバック後の付け替え道路線形の方針は具体化できている一方で、施工ヤードの設定等が明確化できていない。それにより、高圧ケーブルなどの配線や配管類の移設候補先が定まらない。												・干渉物撤去・移設については中長期シナリオを基に適宜、進捗管理を行い、2029年度までに完了予定。 ・斜面对策工事についてはブル燃料取り出し等の対策箇所周辺工事に支障が発生しないように工事計画ならびに設計に取り組む。				
工程表																		
分類	内容	2026年度													2027年度	2028年度	2029年度以降	備考
		4月	5月	6月	7月	8月	9月 現時点	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
事前準備	支障となる移設対象設備の検討・選定																	
	支障となる設備の移設工事																	
セットバック工事	セットバック工事の設計・検討																	
	工事															実施時期は廃炉作業の進捗を踏まえ決定		

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.		分類	項目																	
⑥－3		固形状の放射性物質以外の主な目標 設備・施設の維持・撤去	新水処理設備の設置（新ALPS設備、新RO設備）																	
現状の取り組み状況			検討課題											今後の予定						
○新ALPS設備 ・建設候補地の地質調査などを完了 ・基本設計を実施中 ○新RO設備 ・建設候補地の地質調査を完了 ・基本設計を実施中			○新ALPS設備 ・耐震クラスに応じた具体的な設備設計 ・増設ALPS身体汚染事象などの対策を踏まえた設備設計 ・ダスト閉じ込め対策の具体的な成立性の検討 ○新RO設備 ・耐震クラスに応じた具体的な設備設計											○新ALPS設備 ・2026年度に実施計画変更認可申請予定 ○新RO設備 ・2026年度に実施計画変更認可申請予定						
工程表																				
分類	内容	2026年度												2027年度	2028年度	2029年度以降	備考			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月 現時点	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
新ALPS設備	実施計画																			
	検討・設計・設置																			
	運用																2029年度以降運用開始予定			
新RO設備	実施計画																			
	検討・設計・設置																			修正漏れを反映
	運用																2028年度以降運用開始予定 修正漏れを反映			

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.		分類	項目															
⑦ー1		固形状の放射性物質以外の主な目標 廃炉作業を進める上で重要なもの	1/2号機排気筒下部の高線量SGTS配管等の撤去・周辺の汚染状況調査（2029年度）															
現状の取り組み状況			検討課題						今後の予定									
・2021年8月26日 SGTS配管切断工法について実施計画変更申請認可 ・2021年7月～2023年7月 1号機原子炉建屋大型カバー設置工事及び、1/2号機廃棄物処理建屋雨水対策工事に干渉するエリアのSGTS配管について切断し構内に保管に敷設している配管撤去は、2021年7月に着手。切断作業中に切断装置の不具合が発生し、更なる遅延を回避するため、切断装置の信頼性向上対策を実施。残りの切断箇所1-5箇所を配管の切断長さ変更で9箇所とし、2023年7月に8箇所まで切断完了。 →撤去を完了し1号T/B屋上に仮置き中の1号機SGTS配管（2～8箇所）の事故調査に資する線量調査を2024年12月26日に完了した。 →排気筒下部とその周辺の汚染状況調査の方法を検討中 ・2025年7月～9月 1/2号機未切断範囲である排気筒近傍のSGTS高線量配管（未切断部位）について、切断に向けた線量調査を実施2025年度7月～9月に線量調査を実施した。 ・1/2号機排気筒近傍のSGTS配管（未切断部位）の撤去方法および、排気筒下部周辺の汚染状況調査について検討中			・1/2号機排気筒近傍のSGTS配管撤去では、前述1/2号機Rw/B上部配管撤去の実績を反映して切断装置を設計する等準備を進めるとともに、排気筒近傍の高線量配管については、線量調査の結果を踏まえた、更なる放射性防護対策の見直しを実施する。 ・また前述の9箇所目の配管については、1/2号機Rw/Bの屋根材が剥がれており、切断作業に干渉することから屋根材の撤去を計画する。切断に際し、切断装置の設計に反映（改良）する。						・切断後保管中のSGTS1号機原子炉建屋大型カバー設置工事及び、1/2号機廃棄物処理建屋雨水対策工事に干渉するエリアに敷設している配管撤去については、切断撤去した配管についての事故調査に資する作業を実施した後、分割し固体廃棄物貯蔵庫へ運搬予定。周辺のその他工事と作業エリア及び実施時期のを調整を含め検討する中。 ・1/2号機排気筒近傍のSGTS土記以外の配管撤去については、切断装置の設計及び放射線防護対策の更なる見直しを今後実施することから、工事完了時期を2029年度末に見直しした。 ・1/2号機排気筒下部とその周辺の汚染状況調査は、1/2号機排気筒近傍高線量のSGTS配管撤去以降に実施予定。 →前述の9箇所目の配管については1号機原子炉建屋大型カバー設置工事と干渉しないことを確認しており、排気筒近傍の配管撤去と併せて撤去予定。									
工程表																		
分類		内容	2026年度											2027年度	2028年度	2029年度以降	備考	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月 現時点	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
SGTS配管等の撤去	現場作業	高線量SGTS配管撤去 （1/2号機Rw/B上部／1/2号機排気筒近傍）																
排気筒下部の汚染状況調査	現場作業	汚染状況調査	取り纏まり次第、提示															

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目	
⑧－１	継続的な実施を行うもの	原子炉建屋内等の汚染状況把握（核種分析等） 原子炉冷却後の冷却水の性状把握（核種分析） 原子炉建屋内等での汚染水の流れ等の状況把握	
現状の取り組み状況		検討課題	今後の予定
継続的な取り組みを実施。			

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
 青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目
⑧－2	継続的な実施を行うもの	格納容器内及び圧力容器内の直接的な状況把握（圧力容器内については今後実施予定）
現状の取り組み状況		今後の予定
○1号機 原子炉格納容器（PCV）内部調査 ・更なる調査に向けた調査範囲の策定，調査装置の改良設計・試験・M／U計画を検討中 ○2号機 原子炉圧力容器（RPV）内部調査 ・早期に内部を確認する目的でRPVノズルN16Aに繋がる原子炉炉水位計装配管に小型線量計を内蔵した内視鏡を人力で挿入して調査を実施。 ・2026年4月14日～16日 調査 ○2号機 原子炉格納容器（PCV）内部調査及び・試験的取り出し作業 ・2026年4月7日にロボットアームを1Fへ搬送し、4月21日に2号機原子炉建屋へ搬送を実施。その後、2号機原子炉建屋への搬入を行い、現在、ロボットアームの据付作業を実施中 ・アーム据付後の動作確認時にアーム関節部③軸駆動装置モータの位置保持機構（ブレーキ機構）の固定が解除できないことを確認。当該モータの交換作業を実施し、現在、アームの動作確認を実施中。 ○3号機 原子炉格納容器（PCV）内部調査 ・マイクロドローンを用いて、ベデスタル外1FLエリアおよびベデスタル内の気中部調査を実施中（2026年3月） ・ドライウエル地下階にあるベデスタル人員開口からの堆積物流出状況について、調査計画を検討中。		○1号機 原子炉格納容器（PCV）内部調査（気中部調査） ・2023年度に実施したPCV内部調査（気中部調査）から得られたベデスタル内状況を模擬したモックアップ設備による習熟訓練の実施。 ・ベデスタル内はCRD関連機器と思われる上部の構造物が複数落下していたことから、同じくドローンでRPV底部を調査するためには上部方向を確認する手段の検討。 ・PCV内の霧は照明の性能を著しく低下させ視認距離を短くし、カメラに曇りを発生させる要因にもなるため気中部の調査においてはカメラや照明等の対策。 ○2号機 原子炉格納容器（PCV）内部調査及び試験的取り出し作業 ・テレスコ式装置のカメラ不具合事案を踏まえて、ロボットアームに搭載しているカメラの照射試験を実施。現場環境よりも厳しい条件下ではメーカ仕様通りの耐放射線性が確認できないものがあったことを確認。また、実際の現場環境（PCV内）にあわせた条件の照射試験においても、メーカ仕様通りの耐放射線性を確認できないものを確認。現地作業にて高い累積放射線量が必要となる部位のカメラについては、使用するカメラを当社作業において使用実績のあるカメラへ変更。 ○3号機 原子炉格納容器（PCV）内部調査 ・ベデスタル外への堆積物の流出状況を確認するためには、ドライウエル地下階にあるベデスタル内への人員開口付近に到達する必要があるため、これまでの調査結果を踏まえ、アクセス方法を検討中。 ○1号機PCV内部調査（気中部）を実施予定。 ○2号機 原子炉格納容器（PCV）内部調査及び試験的取り出し作業 ・ロボットアームの据付作業を3～4カ月かけて実施する計画。PCV内部調査・デブリ採取の着手は、2026年夏頃を見込んでいる。 ○3号機PCV内部調査の結果については、これまでの調査結果を踏まえ、ドライウエル地下階調査(ベデスタル外への堆積物の流出状況調査)を検討予定。 ・ベデスタル外南東やRPV底部上方の飛行を検討する。

工程表																					
対策	分類	内容	2026年度												2027年度			2028年度	2029年度以降	備考	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
1号機格納容器内部調査（気中）	検討	検討																			
	製作・設置	製作・モックアップ・設置																			
	作業	調査																※		※時期調整中	
2号機原子炉圧力容器内部調査	作業	調査																			2026年4月14日～16日
2号機PCV内部調査及び試験的取り出し作業、性状把握	現場作業	ロボットアームによる内部調査・デブリ採取													※					※時期調整中 ・検討状況を踏まえ見直し	
		性状把握																			
3号機格納容器内部調査	設計	詳細設計																			
	製作・設置	製作・モックアップ・設置																			
	作業	調査																※		※時期調整中	

No.	分類	項目	
⑧－3	継続的な実施を行うもの	排水路の水の放射性物質の濃度低下	
現状の取り組み状況		検討課題	今後の予定
継続的な取り組みを実施。			

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
 青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目	
⑧－４	継続的な実施を行うもの	高線量下での被ばく低減 建物等からのダスト飛散対策 労働安全衛生環境の改善 品質管理体制の強化（高線量作業に対するリスク抽出及び業務管理の強化）	
現状の取り組み状況		検討課題	今後の予定
継続的な取り組みを実施。			

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
 青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。